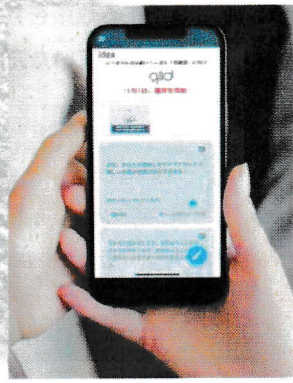


市民対話のDX
スマホで意見言ってみよう!

～新しい共創の仕組みづくりに向けた試験運用開始～

いつまでも住み続けたいまち「西鎌倉」 皆さんの意見やアイデアを募集します!

11月7日
スタート
(オンライン)



発見!ここいいね西鎌倉!

西鎌倉地域の「魅力」と「課題」について、
「市民参加型オンライン共創プラットフォーム」で意見を募集します。
地域の皆さんがどんな意見やアイデアを投稿しているのかも見られるので、
是非ログインしてみてください!
ログインはURL、QRコードからできます。(※スマートフォンからもログイン可能)



詳細は裏面へ

<https://kamakura-city.liqlid.jp>

これまでの市民対話や説明会など

- 対面ならではの臨場感あるスムーズな議論
- 個人の背景も含めた密度が濃い議論



New 市民参加型オンライン共創プラットフォーム

- “いつでも” “どこでも” 意見が投稿できる
- ほかの人の意見も見られて、透明な議論も確保
- 子供から大人まで、誰の意見も公平に扱われる

西鎌みんなの家で一緒に考えてみませんか?

第1回ワークショップ **定員制・先着順**



- 日時 令和4年11月19日(土) 14:00～16:00
- 会場 西鎌みんなの家 (鎌倉市津西一丁目16-36) ※駐車場はありません
- 申込方法 インターネット申込はこちら

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142042-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=42045
電話申込はこちら:0467-23-3000/政策創造課スマートシティ担当まで)



《内容》
オンライン共創プラットフォームに集まった意見やアイデアをもとに、皆さんと一緒にさらに議論を深め、発展させるためのワークショップです。

11月19日
開催
(対面)

企画:鎌倉市政策創造課スマートシティ担当 TEL:0467-23-3000
協力:西鎌倉地区町内・自治会連合会/西鎌倉地区社会福祉協議会/
西鎌みんなの家の会
※西鎌倉地域の上記組織のこれまでの取組をもとに、市と市民との新しい共創の仕組みを市役所が企画し、実施いたします。



Liqlid

リクリッドとは？

Liqlidでは、あなたのアイデアを簡単に投稿し、参加している皆さんに共有できます。そして、鎌倉をより良くする政策を共創する対話が行われます。Liqlidに参加して、あなたの日々の気づきや発見、アイデアを共有いただくことが、より住みやすい鎌倉をつくる第一歩になります！



特徴1

スマホやPCから
時間、場所を問わず参加可能

市民対話やワークショップへの参加が
難しいあなたも、オンラインで簡単に
参加できます。

特徴2

あなたの、そして、多様な市民の“思い”が見える

あなたのアイデアはみんなに共有され
ます(匿名可)。みんなのアイデアが
積み重なります。

特徴3

あなたと鎌倉市が
政策づくりを共創する

あなたもお住まいの鎌倉を一緒により
良くするため、政策の共創に向けた
対話にも参加できます。

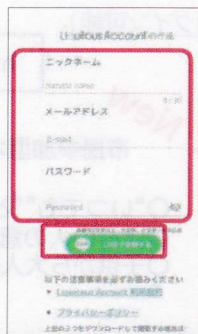
ステップ1 まずはアカウントを作成しよう

※QRコードを読み取れない方は以下のURLをブラウザに入力
URL: <https://kamakura-city.liqlid.jp>

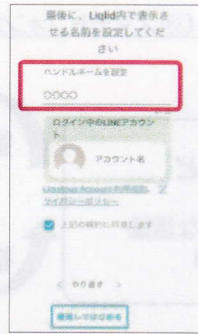
① QRコード読み取り後※
「初めての方はこちら」を押す



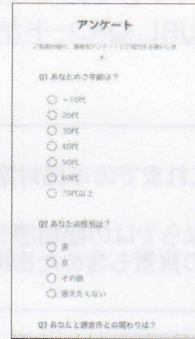
② 「ニックネーム・メールアドレス・パスワード」を入力、
もしくは「LINEで登録」



③ 「LINEで登録」の際
には名前を設定



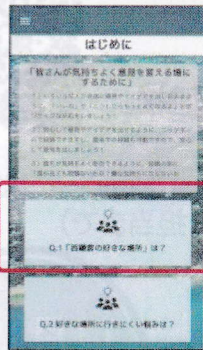
④ アンケートに答え、さあ投稿！



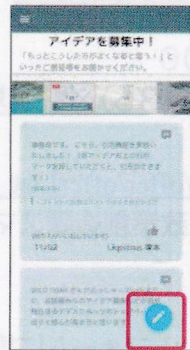
ステップ2 意見を投稿しよう

※ご利用されているブラウザや端末によって見え方が異なる場合があります。

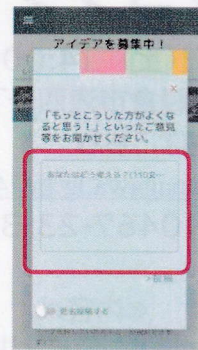
① テーマを選択



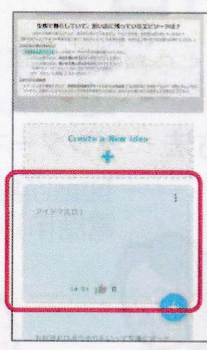
② 赤枠部分を押す



③ アイデアを入力



④ 更に見て、投稿しましょう！



西鎌倉地域での試験運用のスケジュール ※現時点での想定であり変更する可能性があります。

- STEP1:西鎌倉のまちの「魅力」と「課題」を洗い出す
(令和4年11月7日から/オンラインとワークショップにより実施)
- STEP2:皆さんの意見をまとめ、「西鎌倉地域での議論の方向性」をより絞りこんでいく
(令和4年11月下旬、12月上旬頃から/オンラインとワークショップにより実施予定)
- STEP3:西鎌倉地域をいつまでも住み続けたいまちにするためにはどうすればよいかを考えていく
(令和4年12月下旬、1月上旬頃から/オンラインとワークショップにより実施予定)